

長野県産業振興プラン (2023.3 策定)

県内産業の稼ぐ力の向上に向けて、目指すべき姿を示し、具体的な施策を展開することにより、その姿を実現することを目的として、「長野県産業振興プラン」を策定しました。(計画期間2023～2027年度)

【目指すべき姿】

グローバルな視点で社会の変化に柔軟に対応しながら産業イノベーションの創出に取り組む企業の集積

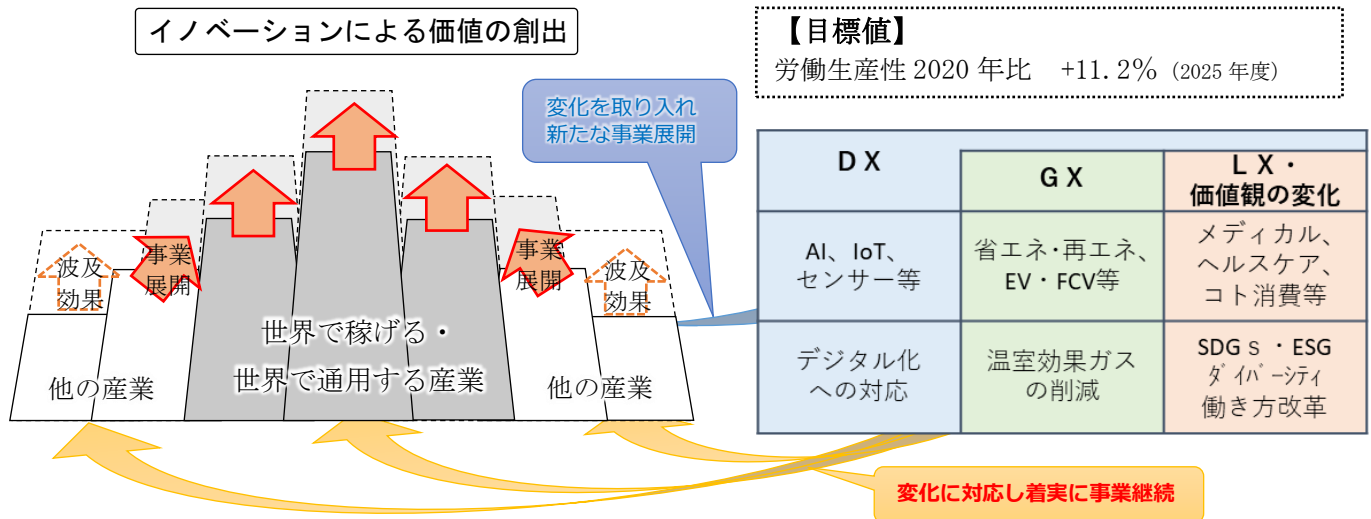
【基本方針】

- I グローバル競争が激化する中、新しい価値を生み出し発展していけるよう、産学官金の共創による企業の競争力強化や人材育成・確保、新産業創出、海外展開等を通じ、世界で稼げる・世界で通用する産業の創出・振興を図る。また、これまで特に注力してきた産業分野（健康・医療、環境・エネルギー、次世代交通、食品、IT）については、今後も本県の強みを生かした発展が期待できることから、継続して支援を行っていく。
- II “DX” “GX” “LX” といった社会や価値観の変化を「稼ぐ力」の向上に向けた原動力と捉え、重点支援を通じて、地球の資源活用や課題解決と組み合わせた事業展開を図るとともに、企業がこれらの変化に柔軟に対応できるよう支援する。

DX：デジタルトランスフォーメーション

GX：グリーントランスフォーメーション

LX：ライフ・サービス・トランスフォーメーション



【プランに基づく支援施策・プロジェクト】

重点施策	プロジェクト
<p>世界で稼げる・世界で通用する産業の創出・振興に向けて県内企業における産業イノベーション創出活動を促進</p> <p>1 新たな価値の創出と産業のDXの推進 クロスイノベーションによる新たな価値の創出など</p> <p>2 デジタル人材・高度人材の育成・確保 各産業・業務とデジタル技術を結び付ける人材の育成・活用など</p> <p>3 本社機能や研究開発拠点等の誘致とスタートアップ育成 日本一創業しやすい県を目指したスタートアップ・エコシステムの機能強化など</p> <p>4 海外展開と見据えた持続可能な経営への展開 海外市場を見据えた販路開拓を支援など</p>	<p>長野県の特徴を生かしつつ、世界的に市場の拡大が予想されるDX、GX、LX分野の技術・製品の創出を重点支援</p> <p>1 様々な産業分野×デジタルによる新産業創出PJ</p> <p>2 循環型社会構築に向けた新産業創出PJ</p> <p>3 電動モビリティ関連産業創出PJ</p> <p>4 信州型サーキュラーフード・フードテックPJ</p> <p>5 県民の健康と快適な環境での生活を維持する新製品・サービスの創出PJ</p> <p>6 健康機能や地域資源等を活用した新商品開発支援PJ</p> <p>7 地場産品を通じたプレミアムな価値提供PJ</p>

お問い合わせ先 産業政策課 企画担当 TEL：026-235-7205 FAX：026-235-7496

E-mail:san-kikaku@pref.nagano.lg.jp

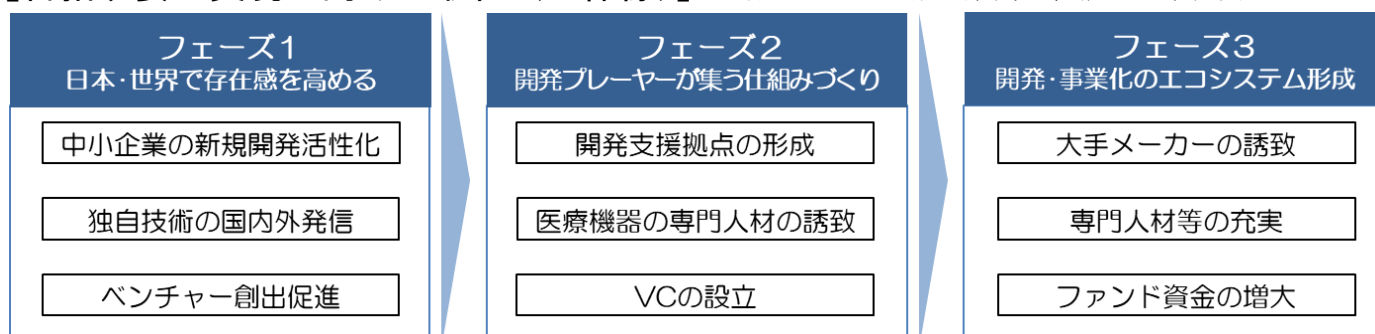
長野県医療機器産業振興ビジョン (2019.3 策定)

長野県では、県内企業の持つ技術の強みを活かし、医療機器産業への参入と集積を促進していくための成長戦略として、「長野県医療機器産業振興ビジョン」を策定し、各種支援施策を展開しています。

【目指す姿】

医療機器分野でのシリコンバレーを目指して ～世界の医療機器産業の発展に貢献する長野県～

【目指す姿の実現に向けた取組（全体像）】 ※各フェーズの推進期間は、概ね5年程度



【ビジョンに基づく支援施策】

◆ 信州医療機器事業化開発センター

(公財)長野県産業振興機構に、信州大学との連携のもと、「信州医療機器事業化開発センター」を設置し、県内企業の医療機器産業への参入促進と事業拡大を総合的に支援

《 支援メニュー 》

- ① コーディネーター/アドバイザーによる一貫支援
…専門のコーディネーター、アドバイザーを配置し、県内企業による医療機器開発に対し一貫的に支援
- ② 試作開発に関する補助金
…県内企業による医療機器開発に必要な経費を補助（上限1,000万円、補助率1/2以内）
- ③ 人材育成プログラムの運営
…開発人材の育成に向けた医学的知識や法規制等を学ぶプログラムを運営
- ④ 海外メーカーへの技術PR
…世界最大級の医療機器展示会等での技術PRを通じ、機器・部材供給等を促進
- ⑤ 医療機器デジタル・クロスイノベーションの促進
…国内外企業と県内企業の連携による医療機器デジタル化、医療機器開発プロジェクトの推進支援
- ⑥ 医療系ベンチャー・スタートアップの創出
…信州大学と連携し、医療系スタートアップ、第二創業促進のための環境を整備

お問い合わせ先 公益財団法人長野県産業振興機構 次世代産業部

TEL : 026-217-1634 FAX : 026-226-8838

E-mail : med@nice-o.or.jp URL : <https://www.tech-smdc.org/>



長野県航空機産業振興ビジョン (2016.5策定)

長野県では、国内外の航空機市場が拡大するこの好機を捉え、「アジアの航空機システム拠点」の形成を目指し、本県の航空機産業の振興に取り組んでいます。

【目指す姿】(2025年度)

航空機システム関連の企業や研究開発の機能が集積する
「アジアの航空機システム拠点」づくり

- 目標① 航空機システムに係る人材育成から研究開発、実証試験までの一貫体制の構築
目標② 航空機産業に取り組む県内企業100社集積(県内調達比率の向上)

【目指す姿の実現に向けた取組】

- 1 「航空機システムに係る総合的な試験研究開発支援機能」の構築
- 2 企業の経営・技術品質保証力の強化
- 3 航空機システム分野を中心とした企業誘致や他産業からの参入促進
- 4 国内外の販路開拓
- 5 国際戦略特区をハブとした県内企業とのネットワーク形成



S-BIRD エス・バード
航空機システム産業振興拠点
(飯田市)

長野県における航空機産業振興の当面の対応方針

現状の航空機産業を取り巻く環境が、新型コロナウイルス感染症の影響等により、「長野県航空機産業振興ビジョン」を策定した時点から大きく変化していることを踏まえ、2020年11月に決定

需要回復期に向けた取組

- ① 航空機システム産業振興拠点の設置及び拠点マネージャーの配置
- ② 信州大学の研究開発成果の事業化、システム関連部品の国産化支援
- ③ 県内企業のソフトパワー(設計・開発力等)の強化支援
- ④ 国際的な会議(環境評価試験シンポジウム)の開催
- ⑤ エアライン、空港会社等のニーズに基づく技術・製品開発の支援
- ⑥ 航空機システム電動化に資する山岳輸送支援等のための無人航空機研究開発の実施
- ⑦ 空飛ぶクルマの開発動向の調査・研究

【ビジョン等に基づく支援施策】

◆ 航空宇宙産業クラスター形成事業

- ・(公財)長野県産業振興機構にコーディネーターを配置、講習会への参加費等を補助、展示会出展を支援
- ・工業技術総合センターとNPO諏訪圏ものづくり推進機構が連携して、県内企業によるエアラインやMRO等へ技術提案を支援
- ・航空機電動化の潮流を受けた産学連携による航空機システム・部品の開発・実証を支援
- ・航空機システムに関する製品開発等を補助金により支援
- ・中小企業と川下企業が協働してサプライチェーン構築を目指す研究会活動を支援



航空機システム産業振興拠点（エス・バード）の環境試験機

（公財）南信州・飯田産業センター 飯田工業技術試験研究所では、航空機産業に不可欠な環境試験機を整備しています。令和4年4月、試験所、校正機関に対する国際標準規格であるISO/IEC 17025の認定を取得しました。

✦ 着水試験装置（平成29年3月導入）

試験概要	地上から上空までの気圧、気温、湿度を再現し、この環境下での航空機の装備品等の安全性・信頼性を評価
試験室内寸	W1,500mm × H1,500mm × D4,000mm
圧力範囲	101.3kPa（大気圧）～10.7kPa（高度52,000ft相当）
温度範囲	大気圧：-70℃～100℃ 10.7kPa～大気圧：-60℃～100℃
湿度範囲	大気圧：20%～95% 10,000ft：20%～85% 5℃～15℃：95%
製造者	エスペック株式会社（大阪府）



✦ 防爆性試験評価装置（平成30年3月導入）

試験概要	航空機システムが、可燃性ガス雰囲気の中で動作させた際に漏電や火花などが生じ爆発しないかどうか試験し、装備品等の安全性・信頼性を評価
試験室内寸	φ1,500mm × L2,000mm （メインチャンバ、サブチャンバは第二種圧力容器構造規格）
圧力範囲	大気圧～100,000ft（101.3kPa～4kPa）
温度範囲	10℃～260℃
製造者	株式会社羽生田鉄工所（長野市）



✦ 燃焼・耐火性試験装置（平成31年3月導入）

試験概要	航空機部品及び材料の燃えやすさ、炎の伝わり方、発生するガスなどを評価
導入機種	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃焼性試験チャンバー ・ 放射パネルチャンバー ・ ガス分析装置 ・ オイルバーナー試験装置 ・ 放熱率試験チャンバー ・ 煙密度試験チャンバー ・ 垂直炎伝達性試験チャンバー
製造者	マーリンエンジニアリング社（米国）



✦ 高速温度変化試験装置（令和2年3月導入）

試験概要	地上から上空、極地などにおける急激な温度変化を再現し、その環境下での航空機の装備品等の安全性・信頼性を評価
試験室内寸	W1,500mm × H1,200mm × D1,000mm
温度範囲	-70℃～180℃
温度変化速度	-57℃～86℃ 10℃/分（リニア）
製造者	エスペック株式会社（大阪府）



✦ 高周波振動試験装置（令和3年3月導入）

試験概要	航空機装備品に温度と振動を繰り返す環境ストレスを加えることにより正常に動作することを確認し、安全性・信頼性を評価
テーブルサイズ	最大800mm × 800mm（5Hz～2,000Hz）
加振力	35kN以上（サイン波）ただし3,000Hzまで定格加振が可能
使用温度域	-55℃～150℃（恒温槽取付時）
製造者	エミック株式会社（東京都）



お問い合わせ先 （公財）南信州・飯田産業センター 飯田工業技術試験研究所
〒395-0001 長野県飯田市座光寺3349-1（エス・バード内）
TEL：0265-52-1630 FAX：0265-21-3134
E-mail：tec@isilip.com URL：https://www.isilip.com/



エス・バード パンフレット https://www.isilip.com/wp/wp-content/uploads/2020/03/エス・バード_パンフレット.pdf

信州 IT バレー 構想 (2019.9 策定)

「Society5.0」時代にふさわしいIT人材・IT産業の集積地になることを目指して、長野県産業イノベーション推進協議会にて「信州ITバレー構想」が策定されました。

【目指す姿】

- 1 快適な住環境と暮らしやすさ、首都圏・中京圏・北陸地域との結節点に位置する長野県の地理的メリットを活かして、Society5.0時代のデジタル社会を担うIT人材・IT企業を集積させる
- 2 産学官が連携しITビジネスの創出を促すエコシステムを構築し、長野県の産業の中核を担うものづくり産業等すべての産業のデジタルトランスフォーメーション推進や高度化を加速する

【目指す姿の実現に向けた取組】

IT人材・企業の集積に向けて、

- 1 IT企業の開発力向上やビジネス創出支援の強化
- 2 全ての産業のDX推進によるIT企業活躍の場づくり
- 3 県内でグローバルに活躍するIT人材の育成・誘致・定着により、エコシステム形成を促進します。



【構想に基づく主な支援施策】

◆ 産学官連携による推進体制の運営

産学官連携によるコレクティブ・インパクト（協働効果）を創出する推進体制として「信州ITバレー推進協議会」（Nagano Information Technology Council：NIT）を設置・運営します。

＜構成＞ 産業界、産業支援機関、大学等教育機関、市町村、国、県 など
 ＜役割＞ 構成員相互の協議の場づくり
 プロジェクト創成・進捗管理等
 構成員協働によるアジャイル型の事業展開の促進 など

◆ コンソーシアム活用型ITビジネス創出支援事業

県内IT中小企業が取り組む産学官連携コンソーシアムを活用した共創による革新的なITシステム開発を支援します。

○IT企業へのシステム開発支援

コンソーシアムを組むことで県内企業等にノウハウが蓄積し、地域に知見が波及する事業に係るシステム開発に要する経費を補助

○コンソーシアム拠点支援

新たなITビジネス（開発型IT企業）を創出するため、地域課題や各産業のDX推進に取り組むコンソーシアム拠点を支援

～その経営課題、長野県内のデジタル技術で解決しませんか？～

デジタルソリューションを繋ぐビジネスマッチングサイト「NIX <ニックス>
<https://nagano-ix.jp/> 【登録・利用無料】



お問い合わせ先 産業立地・IT 振興課 IT バレー推進係
 TEL：026-235-7198 FAX：026-235-7496 E-mail：ritti-it@pref.nagano.lg.jp
 信州 IT バレー推進協議会 事務局
 （（公財）長野県産業振興機構 新産業創出支援本部 IT バレー推進部内）
 TEL：026-217-1635 FAX：026-226-8838 URL：https://nagano-it.jp/



長野県食品製造業振興ビジョン2.0 (2023.3 策定)

長野県では、消費者・社会ニーズに合った「NAGANOの食」の創出・提供を推進するため、食品製造業者の取組指針として、「長野県食品製造業振興ビジョン2.0」を策定し、各種支援施策を展開しています。

【目指す姿】

グローバルな視点で社会的ニーズに対応した長寿県「NAGANOの食」の創出・提供により国内外の食市場をリードする食品製造業の実現

【目指す姿の実現に向けた取組】

目指す姿の実現に向けた4つの重点プログラム

- ① フードテックを活用した健康志向、社会持続性、安全・安心などの消費者、社会ニーズに沿った商品開発力の強化
- ② 地域資源と優れた技術による本質的価値を活用したブランド力の向上
- ③ グローカルな視点による世界市場及び国内需要への展開を加速するマーケティング力の強化
- ④ 関連産業・機関との連携による新たな価値の創出力の向上

【ビジョンに基づく支援施策】

◆開発力の強化

産学官連携・ネットワーク型の「食」と「健康」ラボによる一貫支援を実施し、「NAGANOの食」の開発を図るとともに技術系人材の育成を支援する。また、フードテックを活用し地域の課題解決に向けた支援を行っています。

<支援策>

- 信州フードスペシャリスト育成プログラム・・・研究開発人材の育成支援
- 発酵食品活用スペシャルアドバイザーによる開発支援・・・企業の発酵食品開発を支援
- 研究会による新商品開発プロジェクト・・・産学官で新商品開発を支援
- フードテックに係るセミナーの開催及びコーディネーターによる相談支援
・・・企業のフードテックへの取組を支援



◆ブランド力の向上

「発酵・長寿」ポータルサイトを活用し、国内外において県産食品のブランド力向上を図っています。

「発酵・長寿」ポータルサイトでは、県産食品の魅力を紹介しております。

- <コンテンツ>
- ✓ 県産食品の歴史や健康効果等
 - ✓ 旅行コース「発酵巡りツアー」
 - ✓ 県産食品を活用したレシピ など



お問い合わせ先 産業技術課 地酒・食品振興係

TEL : 026-235-7126 FAX : 026-235-7197

E-mail : shokuhin@pref.nagano.lg.jp URL : <https://www.hakkochoju-nagano.jp>